

学術研究データプラットフォーム (NII)

既存の3基盤を有機的に繋ぐ先端機能を実現しオープンサイエンスの実践に不可欠な人材育成の仕組みを提供

2017-2021

NII RDC
Research Data Cloud
2022-2027

データ管理基盤
データガバナンス機能
データプロビダンス機能
コード付帯機能
秘匿解析機能
キュレーション機能

Research Data Life Cycle
NII RDC
Research Data Cloud

データ検索基盤
CiNii Research

データ公開基盤
IAIRO WEKO3

人材育成基盤
セキュア蓄積環境

データガバナンス機能
計画に基づきデータ管理等を機械的に支援し、DMPをプロジェクト管理に不可欠な仕組みへと変革

データプロビダンス機能
データの来歴情報の管理から利用状況を把握でき、データ公開へのインセンティブモデルを提供

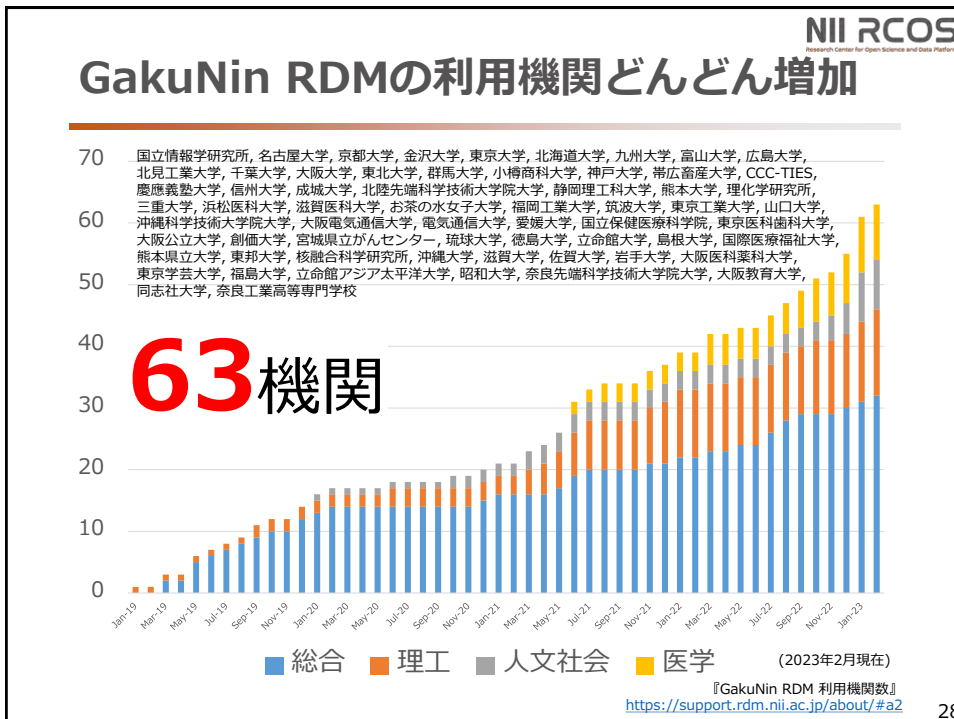
コード付帯機能
データ・プログラム・解析環境のパッケージ化と流通機能を提供し、研究成果の再現性を飛躍的に向上

秘匿解析機能
秘密計算技術で機微な情報も安心して解析できる環境の提供で、新しいデータ駆動型研究の世界を開拓

キュレーション機能
専門的なデータキュレーションを実現できるエコシステムを構築し、データ再利用の促進に寄与

セキュア蓄積環境
専用HWと高度な暗号化技術による超鉄壁ストレージを提供し、データの共有と保護の両立を実現

人材育成基盤
研究データ管理に必要なスキルを学ぶ環境を提供し、全ての研究者を新しい科学の実践者へと育成



NIIへのご依頼

- 某機関 データまるごとお願いしたい！
- もはやデータ基盤を 調達できない、運用できない！
- 秘密計算 さっそく 希望あり

EOSC

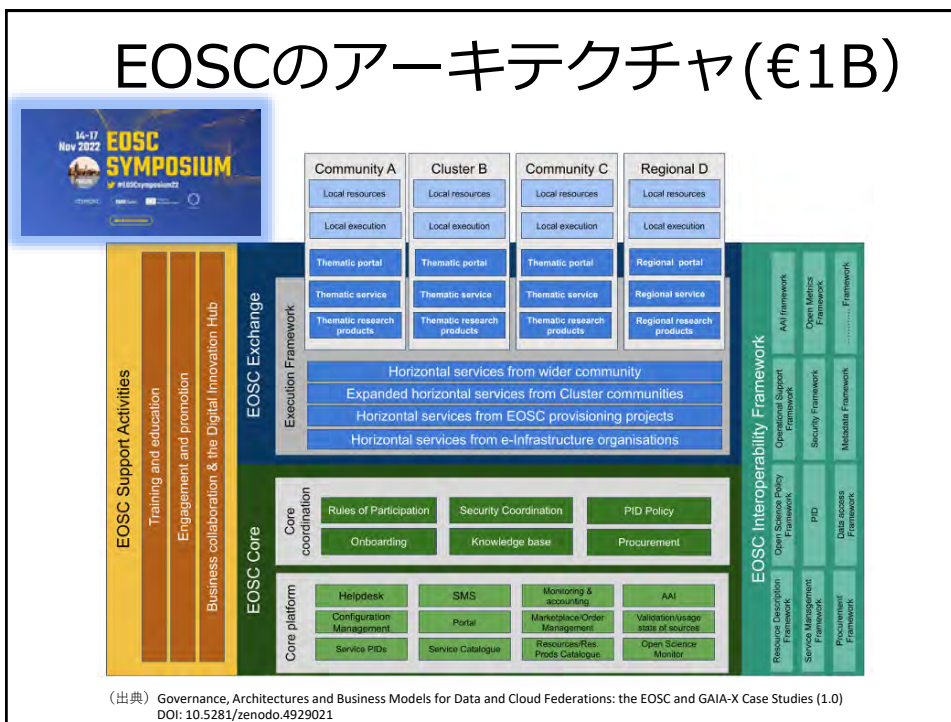
ヨーロッパ・オープンサイエンス・クラウド

€ 1 B



気合が入っている！

EOSCのアーキテクチャ(€1B)



富岳一つ分 (?)

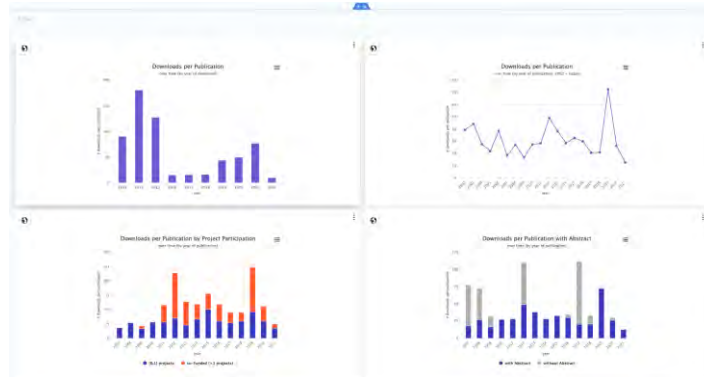
研究費よりもデータ

(2) 大学・国立研究開発法人等において必要となる研究データ管理・利活用のための課題の整理と具体的方策（管理・活用体制の整備方策、人材確保・育成方策など）

- 【提案1】研究者が容易に利用可能な研究データプラットフォームの構築
- 【提案2】データプロフェッショナルの育成と多面的な研究評価の実現
- 【提案3】モニタリング機構に基づくデータ駆動型研究の不断の改善

【提案3】モニタリング機構に基づくデータ駆動型研究の不断の改善

研究データの他者との共有がどの程度進められているか、それによって成果が拡大しているか、データに関連するツールはどの程度利用されているか、データはどの程度容易に検索できているかなど、データ駆動型研究環境を可視測化し、不具合を常に監視するモニタリング機能の開発や運用を担う機構の整備が肝要である。そのためには、研究成果を体系的かつ長期的に、また分野横断的に学術知識情報として集約する体制が不可欠である。

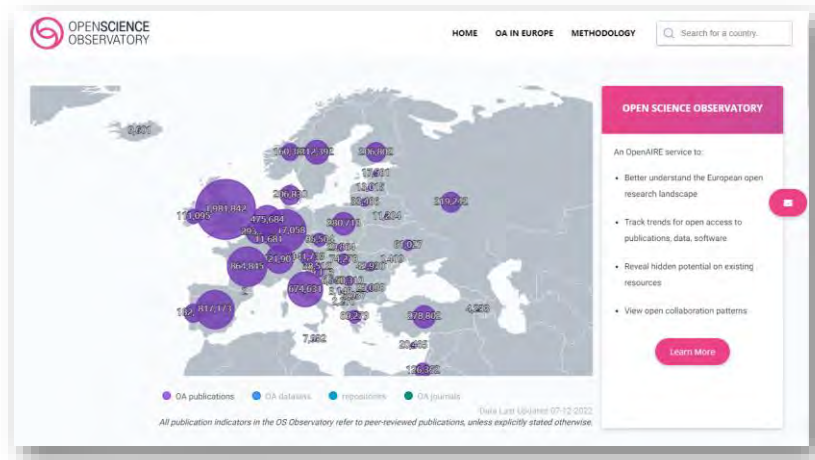


OPENSOURCE OBSERVATORY

NII

機関ごとに収集した情報を国家・領域ごとに集計。

→研究の活発度やオープンサイエンスへの貢献を可視化



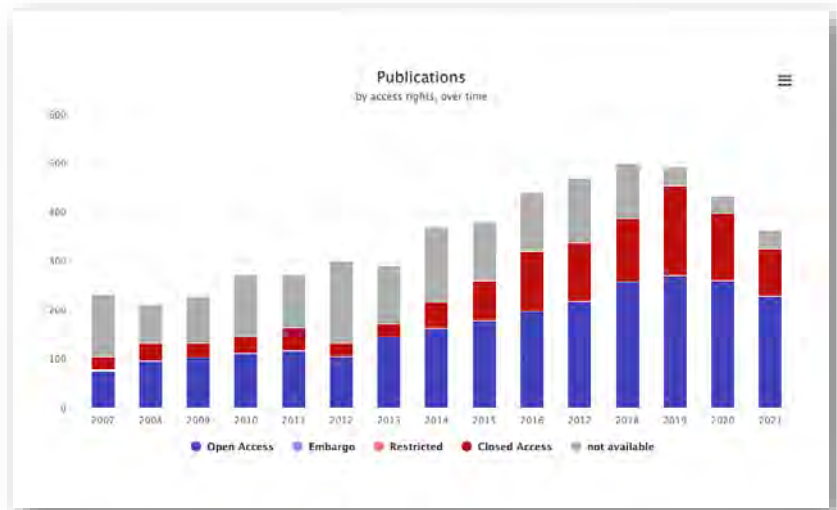
<https://osobservatory.openaire.eu/home>

43

機関ダッシュボード (NII)

NII

年ごとの成果物のライセンス情報

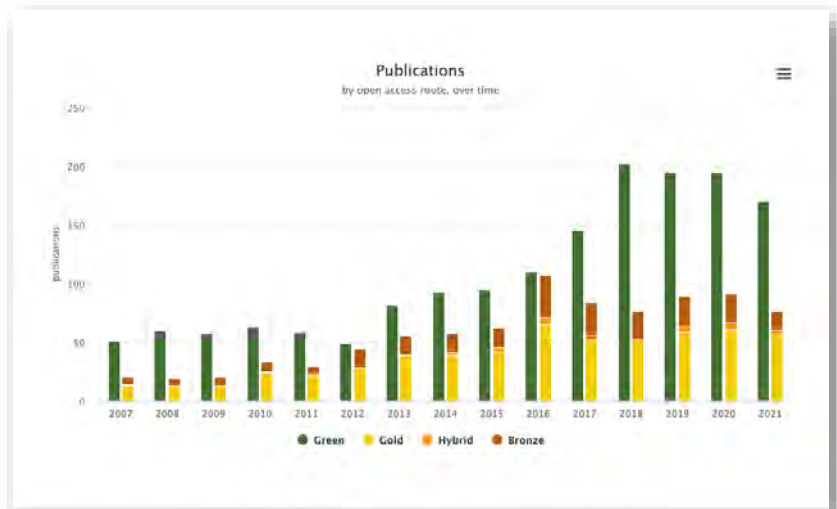


44

機関ダッシュボード (NII)

NII

年ごとの成果物のOpen Access区分



45